

科名 外科

対象疾患 がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

プロトコール名 HP2回目以降(大腸癌)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破薬可	↓						
2	点滴注	側管	デキサート	6.6mg	30分かけて	↓						
			生食	50mL								
3	点滴注	側管	パージェタ	420mg	30分かけて	↓						
			生食	250mL								
4	点滴注	側管	ハーセプチン	6mg/kg	30分かけて	↓						
			注射用水	7.2mL								
			生食	250mL								

★1クール=21日

~MEMO~

催吐レベル1(10%未満)

<パージェタ>

初回840mgを60分以上、二回目以降は420mgを30分以上かけて

臨床試験時、投与患者の70%にインフュージョンリアクション。投与中または投与開始後24時間は慎重に観察

投与終了後、初回投与時に60分ルートキープで休薬、経過観察を行い、2クール目以降も慎重に観察

通常の患者は12週ごと、無症候性心機能障害患者は6~8週ごと心機能を評価

<ハーセプチン>

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。ただし、初回にインフュージョンリアクションあれば2回目60分。以降忍容性あれば30分。

禁忌:アンストラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

臨床試験時、投与患者の70%にインフュージョンリアクション。投与中または投与開始後24時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価